

YES! AOMORI ワークショップ2022 (八戸学院大学)

- 1 目的** 若者の県内定着・還流に向け、県内社会人との交流を通じて、学生に地域の良さや青森で暮らすことの魅力について理解を深めてもらうとともに、将来暮らし働く場所を選択する際の価値観の幅を広げてもらう。
- 2 日時** 令和4年7月7日(木) 12:50~15:30
- 3 対象** 八戸学院大学の学生(2年生・3年生) 22名(3~4名×6グループ)
- 4 会場** 八戸学院まちなかラボ(八戸市大字番町10-4 八戸市美術館2階)
- 5 プログラム**

(1) 青森県内で暮らし働く先輩社会人によるゲストトーク

青森で暮らし働く魅力や、青森県の可能性など、青森の未来に前向きになれるトーク

<トークゲスト> 音水小屋(民宿、カフェ)オーナー 佐藤美穂子氏

大阪府出身。東京で広告営業、介護職員などを経験した後、2016年に夫の佐藤岳広氏の祖父母が農業を営んできた五戸町に移住。無農薬栽培農家を営みながら農家民宿・カフェを開業し、近所の築200年の古民家を管理しフリーマーケットを開催するなど、地域との交流を深めている。

(2) グループワーク(ファシリテーター: 県職員6名)

① 価値観カードゲーム

- ・手にしたカードを自身の価値観、大切にしたいものと照らし合わせ、ピンとこないカードを手放していくゲーム感覚のワーク。
- ・最後まで手元に残った5枚のカードを大切な順に並べ、自身の価値観を具体化しながら、それを実現するのに適している場所について考えていく。

② 社会人との対話による「青森の価値」発見

- ・カードゲーム結果を基に、社会人ファシリテーターが学生の価値観を掘り下げながら、「青森の価値や魅力、可能性」などを引き出していく。

③ 「私にとっての青森」の発表・共有

- ・ワークを踏まえ、学生がそれぞれの「私にとっての青森」とは何かを考え、発表する。

6 会場(八戸市美術館2階・八戸学院まちなかラボ)

